

とう通信」について改めてご説明を。実は僕たち夫婦は「ふれあい歯科」とう」という形で開業する前から新宿区を中心に訪問診療を始めていました。これはある医療機関にお願いし、そこから派遣という形で始めましたので僕たちの名前はどこにもありませんでした。そこで、訪問している患者さんたちに少しでも僕たちのことを知っていただくと思つて作り始めたものです。だから：高齢の方でも読みやすい文字の大きさにしたり、僕たちの日常を織り交ぜたりという紙面づくりをしてきました。最初は不定期に出していましたが、毎月一日発行としてからは通信づくりが月末の仕事になりました。ただ、この文字の大きさは、紙一枚ですからネタさえ決まればすぐに書けてしまいます。

以前、ある作家の方のご家族を訪問で拝見していたことがあり、毎月通信をお渡ししていました。

その方に「文章うまいからこのまま本にしたら？」って言われたことがあります。そこから調子に乗っていることは否認しません！毎月ファイルに綴じていただいている方や過去のバックナンバーも読んでいただけの方などいるのがとてもうれしいです。そこで：やっぱり調子に乗ってこのまま書き続けようって思っています。

### 因果関係？

まったく根拠はないのですが：時期によって同じ症状で来院される方



が多いということがあるんです。

今年の冬、特に多かったのは、歯がしみると訴えてこられる方。当たり前ですが、水や空気が冷たかったりするので刺激も強いんです。また、年末年始、お盆などに多いのは親知らずの痛み。これは推測ですが、元々親知らずの周囲は慢性的に炎症を起こしているケースがあり、日常忙しくしている方は「それどころではない」「感じだったりするので、いざ、お休みになってホッとした瞬間に爆発するのではないかと思います。日常忙しい人ほどこの時期に集中しますから。

まあ、うちだけのデータでどうなるものでもありませんが、全国的にどんな症状の方がいつ来院されるのかを分析してみると何かの傾向が見えるかもしれませんね。